



気象観測機器コンテスト 最終選考会出場!!

本校理数科2年生を対象とした学校設定科目「青鵲課題研究」では、同じ学部・学科を志望する仲間と研究チームを組み、「数学・情報」「物理」「化学」「機械」「電気・電子」「都市工学」「農学」「医療系」の8分野に分かれて、その学部・学科に関連した研究テーマで課題研究に取り組んでいます。この授業の中で、岡姫愛さんと堤彩葉さんは「気象病」に注目して研究を行っております。気象病とは近年認知されつつある病名で、気象や天候の変化によって頭痛や食欲不振、気分の落ち込み等の症状が出現する疾患です。そこで、観測機器を用いて上空の気温、気圧、湿度等を測定し、気象病の発症を予測することが出来ないかと考え、そのための観測機器作りに挑戦しています。その成果を発表するため、一般社団法人 WNI 気象文化創造センター主催、気象文化大賞「第11回高校・高専『気象観測機器コンテスト』」に挑戦しました。その結果、一次選考、二次選考を通過し、12月18日(日)に寒極観測船 SHIRASE5002 特別会場(千葉県舟橋市、会場は船の中! (写真右上))で行われた最終選考会に選ばれました!! 当日は気象観測の専門家である大学の先生方や元南極観測隊の方などを前に、自分たちが作成した機器について立派にプレゼンテーションしてくれました。岡さん、堤さん、最終選考会出場おめでとうございます!



気象観測機器コンテスト (千葉県船橋市)
(2022年12月18日)

科学の甲子園佐賀県本選 第3位入賞!!

「広げよう科学の輪 活かそう科学の英知」を合い言葉に毎年開催されているのが科学の甲子園です。今年も本校より2年生、1年生の計8名が合同チームとして出場しました。7月の佐賀県予選を見事通過した本校チームは、数学、物理、化学、生物、地学、情報の6分野にチームで取り組む筆記競技と、用意された製作材料と道具を用いて条件を満たすシャトルウィンドカーを作製する実技競技(進め!涼風丸!!)に挑戦しました。筆記競技は出場チーム中で第1位だったものの、実技競技で逆転を許し、総合結果は第3位でした。3月に行われる全国大会出場はかなわなかったものの、事前の準備や勉強など本当によく努力してくれたと思います。第3位入賞、おめでとうございます!



科学の甲子園佐賀県本選 (致遠館高校)
(2022年12月18日)